

【団体名】一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

事業報告書

事業名	「パラアート地域交流サロン」新規開設推進事業	
	【計画時の事業内容】	【実施結果(成果)】
<p>■啓発イベント「歌フェス 2018」開催(NPO 法人「療育ねっとわーく川崎」主催イベントに出演等協力)</p> <p>(1)内容 障害を持っている人もそうでない人も気軽に楽しく参加できる「場」作りイベント。本年は障害者 &amp; 健常者演奏グループによる演奏が中心</p> <p>(2)日時 2018年8月25日(土) 11:00~15:00</p> <p>(3)場所 多摩市民館・大ホール</p> <p>(4)広報 ①イベント来場者に「パラアート地域交流サロン」ご案内チラシを配布 ②地域メディア(タウンニュース多摩区版など)に当イベント、サロンの記事掲載</p> <p>■「パラアート地域交流サロン」新規開設・推進</p> <p>(1)内容 障害の有無に関わらず誰もが参加できるアート活動を通じての地域交流と相互理解を図ることを目的とする ①筆ペンアートワークショップ(開催は2回を予定) ②音楽ワークショップ(ミニコンサートと器楽合奏)(開催2回を予定)</p> <p>(2)場所 NPO 法人「療育ねっとわーく川崎」サポートセンター「ウエルカフェ」</p> <p>(3)広報 近隣住民などへのご案内チラシ配布</p> <p>(4)フィードバック 本年度は、試行的開催とし、進行・運営上での課題を見出し、来年度の定期的・継続的開催に結びつける</p> <p>■「パラアート地域交流サロン」広報誌の制作・配布</p> <p>(1)概要 今回新設のサロンに加え、音楽交流サロン「奏」、ベル&amp;パーカッション交流アンサンブル「響」について、広報誌を制作し、配布することで認知・啓発拡大を図る</p> <p>(2)内容 「パラアート地域交流サロン」に参加する障害者の方の自立心の醸成、地域の方や施設職員の心・意識の変化等から、パラアート交流が地域に欠かせないものであることを記載</p> <p>(3)配布先 市内障害者支援施設、養護学校など</p>	<p>■啓発イベント「歌フェス 2018」開催(NPO 法人「療育ねっとわーく川崎」主催イベントに出演等協力)</p> <p>(1)内容 計画通り実施、弊団は協力出演として、ソレイユ川崎との「アンサンブル響」として出演</p> <p>(2)日時 2018年8月25日(土) 11:00~15:00</p> <p>(3)場所 多摩市民館・大ホール</p> <p>(4)広報 ①イベント来場者に「パラアート地域交流サロン」ご案内チラシを配布(1000枚) ②メディア取材は実現しなかったが、チラシを多く配布し、認知拡大に寄与できた</p> <p>■「パラアート地域交流サロン」新規開設・推進</p> <p>(1)内容 誰でもアート交流サロン「遊」(すさび)としてパラアート地域交流サロンを開催 ①筆ペンアートワークショップ(10/27、12/1) ②音楽ワークショップ[ミュージックベル](9/22、11/10、12/1)</p> <p>(2)場所 NPO 法人「療育ねっとわーく川崎」サポートセンター「Café Pop!」(「ウエルカフェ」から改名)</p> <p>(3)広報 近隣住民などへのご案内チラシ配布</p> <p>(4)フィードバック 多くの人に参加いただいた。今後の展開として、「遊」を各地域展開の拠点とするアイデアが浮上した</p> <p>■「パラアート地域交流サロン」広報リーフレットの制作・配布</p> <p>(1)概要 今回新設のサロンに加え、音楽交流サロン「奏」、ベル&amp;パーカッション交流アンサンブル「響」について、啓発効果の高いリーフレット形式の広報誌を制作し、配布。認知・啓発拡大を図った</p> <p>(2)内容 障がい者の方の自立心の醸成、「参加者の交流→相互理解→信頼→更なる交流」サイクルモデルを提唱できた</p> <p>(3)配布先 市内障害者支援施設(21か所他、500部)</p>	

【計画時の事業の実施効果】	【実際の効果と課題】
<p>■多摩区を中心とする市内の「パラアート地域交流サロン」の認知・関心の拡大を図ることができる</p> <p>①<u>地域(主に多摩区)への認知・関心拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発イベント開催 &amp; 集客による多摩区周辺地域への啓発推進</li> <li>・地域メディア発信(タウンニュース多摩区版等)での啓発推進</li> </ul> <p>②<u>市内全体への認知・関心拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手メディアへの発信(東京新聞、朝日新聞など)での市内啓発の推進</li> <li>・市内の各障害者支援施設などへのパラアート地域交流サロン開設ご案内チラシの配布</li> </ul>	<p>■多摩区を中心とする市内の「パラアート地域交流サロン」の認知・関心の拡大を図ることができた</p> <p>①<u>地域(主に多摩区)への認知・関心拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発イベント開催 &amp; 集客による多摩区周辺地域への啓発推進ができた(参加者:約 300 名)</li> <li>・メディア掲載は実現しなかったが、ネット配信やチラシ配布などで一定の認知を図れた</li> </ul> <p>②<u>市内全体への認知・関心拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の各障害者支援施設などへのパラアート地域交流サロン開設ご案内チラシの配布</li> <li>・「パラムーブメントとアート～生きる力～」シンポジウムにパネラーとして招聘され、認知拡大が図れた</li> </ul>
<p>■多摩区での「パラアート地域交流サロン」開設推進による地域の障害理解促進を図ることができる</p> <p>NPO 法人「療育ねっとわーく川崎」の「ウエルカフェ」(多摩区登戸)での「パラアート地域交流サロン」を新規開設し、障害者と地域住民との交流による相互理解促進を図ることができる</p>	<p>■多摩区での「パラアート地域交流サロン」開設推進による地域の障害理解促進を図ることができた</p> <p>NPO 法人「療育ねっとわーく川崎」の「Café Pop!」(多摩区登戸)で、誰でもアート交流サロン「遊」を新規開設し、毎回 20 名以上の来場者の中、筆ペンアートやミュージックベルを通じて、障害者と地域住民との交流による相互理解促進を図ることができた。また、お互いの信頼関係構築にも寄与でき、来年度以降も開催のリクエストをいただいた</p>
<p>■来年度以降の他地域での「パラアート地域交流サロン」新規開設の足がかりとなることことができる</p> <p>これまでの経験・実績と今回の「パラアート地域交流サロン」新規開設・推進の経験と実績が加わることで信頼・認知も高まり、他地域での新規開設の足がかりとなることことができる</p>	<p>■来年度以降の他地域での「パラアート地域交流サロン」新規開設の足がかりとなることできた</p> <p>これまでの経験・実績と今回の「パラアート地域交流サロン」新規開設・推進の経験と実績が加わることで信頼・認知も高まり、他地域での新規開設の足がかりとなることできた。一案として、当事者の保護者で構成され、当事者ニーズに熟知している、療育ねっとわーく川崎での「遊」を拠点として位置付けることで、各地のニーズに即した下記展開が挙げられている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラアートワークショップ企画・試行</li> <li>・スタッフ募集、研修・勉強会の開催</li> </ul> <p>さらに、療育ねっとわーく川崎の拠点施設及び「Café Pop!」は交通アクセスが良いので、人を集めやすい(集まりやすい)立地は大きなメリットとなる</p>